

「臨床婦人科産科」 第54巻 総目次

2000年(第1号〜第12号)

数字は通巻頁数、()は号数

今月の臨床

●胎盤異常と臨床(1)

<妊娠前期の胎盤異常>

1. 多胎妊娠の膜性診断
……………柳井 繁章・藤田 恭之
……………佐藤 昌司・中野 仁雄……………10

2. 絨毛膜下血腫と妊婦管理
……………近藤 俊吾・田島 秀郎・高橋 通
……………相馬 廣明・畑 俊夫……………14

3. 胎盤の位置異常と妊婦管理……………石原 楷輔……………20

<妊娠後期の胎盤異常>

1. 胎盤血腫・血管腫と胎児管理
……………竹田 善治・坂井 昌人・岡井 崇……………26
2. 巨大胎盤の原因と取り扱い
……………安日 一郎・石丸 忠之……………30
3. 胎盤早期剥離の早期診断……………小林 隆夫……………36
4. 癒着胎盤の分娩前診断
……………伊藤 隆志・片桐千恵子・長田 直樹
……………高橋 弘幸・池野 慎治……………40

5. 母児間輸血症候群
……………中村 幸夫・松原 徹……………44

<産科異常と胎盤病理>

1. 合併症妊娠の胎盤病理……………中山 雅弘……………48
2. 絨毛膜羊膜炎の胎盤病理
……………飯原久仁子・柴原 純二・坂本 穆彦……………54
3. 子宮胎盤血流と胎盤病理……………岩田 守弘……………57
4. TTTSと胎盤血管吻合……………吉田 啓治……………60

●ホルモン療法のピットフォールーあなたの方法は間違っていますか(2)

<月経異常の治療>

1. ゲスターゲンテストにノアルテ
ンは
……………安田 師仁・福田 淳・田中 俊誠……………118
2. 第1度無月経に Kaufmann 療法
は……………熊谷 仁・福田 淳・田中 俊誠……………120
3. 機能性出血にプレマリン静注は

……………石原 理……………124

4. EP ホルモン投与で止まらない
機能性出血は……………石原 理……………126

5. ホルムストローム療法後の高温
相持続は……………苛原 稔・青野 敏博……………128

6. 黄体機能不全に対するゲスター
ゲンの投与時期は
……………苛原 稔・青野 敏博……………130

7. 月経を早めるためのホルモン投
与の時期は……………岩崎 信爾・齋藤 裕……………132

8. 未婚無月経女性に対する排卵誘
発法は……………齋藤 裕……………134

<不妊治療>

1. 第2度無月経にクロミフェン療
法は……………木元 正和・深谷 孝夫……………136

2. クロミフェンの増量、長期投与
は……………木元 正和・深谷 孝夫……………138

3. FSH 高値症例へのゴナドトロ
ピン療法は……………宮川 勇生……………142

4. 高度るいそう症例への排卵誘発
は……………宮川 勇生……………144

5. PCOS へのゴナドトロピン療法
は……………高橋健太郎・岡田 正子・宮崎 康二……………146

6. OHSS になりやすい排卵誘発
法は
……………高橋健太郎・尾崎 智哉・宮崎 康二……………150

7. 黄体期 hCG 投与の注意点は
……………関 克義・伊藤 桂・関谷 宗英……………153

8. 妊娠初期の hCG 大量投与は
……………関 克義・長田 久夫・関谷 宗英……………156

<更年期・老年期>

1. HRT にピル(経口避妊薬)の流
用は……………大澤 稔・水沼 英樹……………158

2. 子宮のある婦人に ERT は
……………大澤 稔・水沼 英樹……………159

3. HRT の禁忌症例は……………石丸 忠之……………160

4. HRT 中の定期検査は……………石丸 忠之……………164

5. エストロゲン+アンドロゲンデ

ボー剤の長期連用は……………林 雅敏…	168
<その他>	
1. GnRH アゴニストの6か月をこえる投与は……………太田 博明・牧田 和也…	172
2. 子宮筋腫へのGnRH アゴニスト投与の目的は……………太田 博明・牧田 和也…	174
3. プロラクチン高値ですぐプロモクリプチン投与は……………綾部 琢哉・森 宏之…	176
4. プロモクリプチンの副作用軽減法は……………綾部 琢哉・森 宏之…	179
5. タモキシフェンの子宮内膜に対する作用は……………角田 肇・西田 正人…	180
6. ピルの乳汁分泌への影響は……………田中 奈美・西田 正人…	184

●新生児外科の最前線―産科医としての必須知識(3)

超音波検査の要点―妊娠中期以降……………石川 睦男・石郷岡哲郎…	220
胎児MRI検査の適応と要点……………川鱈 市郎・高橋雄一郎・玉舎 輝彦…	224
新生児外科患者搬送のタイミング……………細田弥太郎・山高 篤行・宮野 武…	228
新生児外科の麻酔と術前・術後管理の要点……………太城 力良・柳本富士雄…	232
<外科治療の現況と産科医へのアドバイス>	
1. 頭部神経系疾患	
1) 水頭症……………夫 敬憲…	236
2) 二分頭蓋と新生児脳腫瘍……………山内 康雄・稲垣 隆介…	240
3) 二分脊椎……………白根 礼造・吉田 康子…	244
2. 胸部疾患	
1) 先天性横隔膜ヘルニア……………吉野 裕顕・加藤 哲夫…	248
2) 肺・縦隔の腫瘍病変……………横森 欣司…	252
3) 先天性心疾患……………藤原 直…	256
3. 腹・背部疾患	
1) 臍帯ヘルニア・腹壁破裂……………河原崎秀雄・水田 耕一・橋都 浩平…	261
2) 消化管閉鎖……………高松 英夫…	266
3) 消化管穿孔・腹膜炎……………高原 裕夫・福山 充俊…	270
4) 肝・胆道疾患……………池田 信二・世良 好史	
……………内野信一郎・吉田 光宏…	274
5) 腎・尿路疾患	

島田 憲次・細川 尚三・松本 富美…	281
6) 卵巣嚢腫……………八塚 正四・岡松 孝男…	284
7) 仙尾部腫瘍……………伊川 廣道…	288

●生殖内分泌と不妊診療の最新データ(4)

<思春期>	
1. 思春期発来のメカニズム……………矢内原 巧…	332
2. 思春期の発達過程……………金子 利朗・早稲田智夫・牧野田 知…	338
3. 思春期早発症……………田中 敏章…	346
4. 原発性無月経・遅発月経……………和田真一郎・佐藤 修・星 信彦	
……………櫻木 範明・藤本征一郎……………	354
5. 性分化異常……………石塚 文平…	362
6. 摂食障害……………目崎 登・田副 真美…	372
7. 性同一性障害……………石原 理・木下 勝之…	380
<性成熟期>	
1. 性成熟期婦人の内分泌動態……………田坂 慶一・岡本 陽子・早川 潤	
……………中辻 友希・村田 雄二……………	390
2. 月経異常……………安達 知子…	398
3. 月経前緊張症・月経困難症……………村田 浩之・佐藤 和雄…	404
4. 機能性子宮出血……………堂地 勉…	412
5. PCOS……………松崎 利也・苛原 稔・青野 敏博…	416
6. 高プロラクチン(PRL)血症……………松岡 良…	426
7. 多毛と男性化症……………坂田 正博・田坂 慶一・村田 雄二…	432
8. 早発閉経……………大場 隆・松浦 講平・岡村 均…	436
<更年期・老年期>	
1. 更年期・閉経期の内分泌変化……………南 佐和子…	444
2. 更年期障害……………卜部 諭…	450
3. 骨粗鬆症……………倉林 工・田中 憲一…	460
4. 高脂血症……………森岡 信之…	470
5. 排尿異常と性器脱……………松田 秀雄・中原 健次・廣井 正彦…	478
<不妊の原因と検査>	
1. 一般不妊検査の判定基準……………藤原 寛行・荒木 重雄…	486
2. 排卵因子……………高橋健太郎・宮崎 康二…	492
3. 男性因子……………正田 朋子・星 和彦…	502
4. 卵管因子……………末岡 浩…	512
5. 子宮因子……………久保田俊郎…	518
6. 免疫因子	

……鎌田 正晴・前川 正彦・青野 敏博…	526
7. 子宮内膜症	
……岩部 富夫・原田 省・寺川 直樹…	532
8. 不育症……………牧野 恒久・杉 俊隆…	536
<不妊の治療>	
1. 不妊治療の動向…渋井 幸裕・久保 春海…	542
2. ギナドトロピン療法, クロミフ エン療法	
……上条 隆典・安藤 一道・水沼 英樹…	548
3. GnRH および GnRH アゴニス ト……………正岡 薫・稲葉 憲之…	556
4. AIH, AID	
……田辺 清男・兼子 智・郡山 智 赤星 晃一・山本百合恵・酒井のぞみ 浜谷 敏生・吉村 泰典……………	566
5. IVF-ET, GIFT ……………繁田 実…	572
6. 顕微授精, ICSI, MESA, TESE	
……柳田 薫・片寄 治男・佐藤 章…	578
7. 内視鏡下手術の術中所見と術後妊娠	
……岡垣 竜吾・丸山 正統・大須賀 穰 百枝 幹雄・堤 治・武谷 雄二…	590
8. マイクロサージェリー……………長田 尚夫…	596
<不妊治療の問題点>	
1. OHSS ……………竹林 浩一・高倉 賢二 後藤 栄・野田 洋一…	602
2. 多胎妊娠	
……菅沼 信彦・若原 靖典・小谷 美幸…	608
3. ART による妊娠の予後	
……中村 幸雄・神野 正雄・小野寺潤子 星合 敏久・菅原 新博・酒井 謙 尾崎 恒男……………	616

●ハイリスク分娩の管理指針(5)

<ハイリスク妊婦の分娩管理>

1. VBAC 管理とダブルセットア ップ……………水上 尚典・佐藤 郁夫…	634
2. 中毒症—分娩時の血圧管理と産 褥ケア	
……中井祐一郎・橘 大介・荻田 幸雄…	637
3. HELLP 症候群, 急性妊娠脂肪 肝—分娩前後の管理	
……大崎 尚・江川 真人・神崎 秀陽…	640
4. CPD トライアル—比較的狭骨 盤・低身長妊婦…土屋 清志・岩下 光利…	644
5. 高年初産婦・肥満妊婦のリスク 管理……………辰村 正人…	647

6. 筋腫・子宮奇形の経腔トライア ル……………鈴木 倫子・植田 充治…	650
<ハイリスク胎児の分娩管理>	
1. 骨盤位分娩におけるリスク回避	
………竹田 善治・中山 摂子 坂井 昌人・岡井 崇…	654
2. 多胎分娩のリスクと対策……………末原 則幸…	658
3. 早産, IUGR 児の分娩管理	
……藤田 恭之・佐藤 昌司・中野 仁雄…	662
4. 巨大児分娩の管理と肩甲難産の 対策……………山本 哲三…	666
5. 過期産の分娩対策	
………西島 正博・斎藤 克…	670
<胎盤・臍帯・羊水異常例の分娩管理>	
1. 低置胎盤分娩時の出血管理……………森 颯…	674
2. 臍帯循環ハイリスク例の分娩管 理……………宇津 正二…	678
3. 羊水過多分娩時のリスクとその 対策……………島田 勝子・岡村 州博…	683
<合併症妊婦の分娩管理>	
1. 心疾患合併例の分娩時リスク管 理……………根木 玲子…	686
2. 易出血性血液疾患の分娩対策	
……荻島 大貴・吉田 幸洋・桑原 慶紀…	690
3. 喘息合併例の分娩管理……………中田 好則…	694
4. 感染症—児への感染リスクの回 避……………小島 俊行…	700

●子宮頸癌—最近のトピック(6)

<診断・検査のトピック>

1. 臨床進行期分類の変遷	
………久布白兼行・野澤 志朗…	744
2. 頸癌の自然史と再発予知におけ る HPV typing の意義	
………小西 郁生・塩原 茂樹…	748
3. 画像診断の意義……………富樫かおり…	752
4. ¹⁸ F-FDG-PET の有用性	
………深山 雅人・梅咲 直彦 田中 哲二・荻田 幸雄…	758
5. 頸部腺癌診断の問題点	
………植田 政嗣・植木 實…	762
6. 腫瘍マーカー……………住浪 義則・加藤 紘…	768

<治療のトピック>

1. Conization の実際	
……西村 正人・古本 博孝・青野 敏博…	772
2. 初期癌への新しい治療:PDT 室谷 哲弥…	777

3. 手術

- 1) 卵巣機能温存手術—適応と限界
皆川 幸久・紀川 純三・寺川 直樹… 782
- 2) 膀胱神経温存手術
……………鈴木 正明・桑原 慶紀… 785

4. 化学療法

- 1) Neoadjuvant Chemotherapy
野河 孝充・日浦 昌道・千葉 丈… 790
- 2) 選択的動注化学療法
小野瀬 亮・加藤 久盛・中山 裕樹… 796

5. 放射線療法—放射線科からみた 頸癌治療のトピック

- 1) Chemoradiotherapy ……兼安 祐子… 800
- 2) 高線量率組織内照射
田中 英一・今井 敦・井上 俊彦… 806
- 3) 温熱療法の併用
……………多湖 正夫・中川 恵一
……………青木 幸昌・大友 邦… 809

6. 新たな治療への展望

- 1) HPV ワクチン
……………齊藤 淳子・神崎 秀陽… 814
- 2) 遺伝子治療…西田 純一・和氣 徳夫… 819

●避妊法—問題点とその対策(7)

<避妊法の基礎知識>

1. リプロダクティブヘルス/ライツ
と避妊……………堀口 雅子… 864
2. 避妊の統計……………玉田 太朗… 872
3. 避妊法の種類と特徴
……………大道 正英・久本 浩司
……………早川 潤・倉智 博久… 875
4. 避妊法と性感染症……………野口 昌良… 881
5. 産後の避妊……………柳田 隆… 884
6. 中高年の避妊……………島本 郁子… 888
7. 避妊のリスク, ベネフィット,
コストとインフォームド・デシ
ジョン……………久繁 哲徳… 892
8. 新しい避妊法の展望
……………前川 正彦・鎌田 正晴・青野 敏博… 896

<避妊法の問題点と対策>

1. ピル

- 1) 不正出血・その他のマイナートラブル
……………綾部 琢哉・森 宏之… 900
- 2) 血栓症……………小林 隆夫… 904
- 3) 発癌
今井 篤志・古井 辰郎・玉舎 輝彦… 908

4) 他の薬剤との相互作用

- ……………細井 美佐・村山純一郎… 912
2. IUD ……………寺師 恵子… 917
 3. バリア法の問題点と対策……………北村 邦夫… 920
 4. 卵管不妊手術—問題点と対策…竹村 秀雄… 926
- <特別レポート>
- 10 代女性の性行動の現状と性教育
……………赤枝 恒雄… 931

●無痛分娩・和痛分娩(8)

- 無痛分娩の歴史と日本の現況……………鈴木 健治… 974
- <諸外国における無痛分娩の現状>
1. アメリカ……………矢沢珪二郎… 978
 2. フランス……………古屋 幹郎… 980
- 無痛分娩法の種類とメリット・デメリット
……………島田 洋一・菊池 三郎… 983
- 無痛分娩における副作用とその対策
……………照井 克生・川添 太郎… 988
- 硬膜外麻酔の分娩経過に及ぼす影響
……………遠藤 力… 992
- 無痛分娩の新生児への影響
……………渡辺 智子・野渡 正彦… 996
- 無痛分娩におけるインフォームドコ
ンセント……………久 靖男…1000
- <無痛分娩の実際—私はこうしている>
1. 硬膜外麻酔
……………内山 章・庄野 秀明・岩坂 剛…1003
 1. 硬膜外麻酔……………村川 和重…1007
 1. 硬膜外麻酔……………野田 保人…1011
 2. バランス麻酔……………天野 完…1013
 2. バランス麻酔(鎮痛剤, 麻薬,
笑気麻酔) ……………小倉 久男…1016
- <麻酔に頼らない和痛法>
1. ラマーズ法……………林 弘平…1019
 2. ソフロロジー法(ソフロロー
式分娩) ……………松永 昭…1022
 3. アロマセラピー……………宮原 英二…1025
 4. 鍼・灸・TENS ……………後山 尚久…1029
 5. 助産ケアによる和痛の工夫
……………島田三恵子・安達久美子…1033

●思春期外来—診療上の留意点(9)

<総論>

1. 思春期発来機序…河野 康志・宮川 勇生…1070
2. 思春期の内分泌変化
……………本庄 英雄・保田 仁介…1074

3. 第二性徴の発達と初経…………菅井 亮世…1077
4. 思春期の心理……………宮本 信也…1081
5. 性教育のあり方……………松本 清一…1085
6. 思春期外来のあり方—大学病院
……………清水 幸子…1088
6. 思春期外来のあり方—病院……加藤 季子…1092
- <思春期の異常とその対応>
1. 肥満……………由良 茂夫・佐川 典正…1094
2. 摂食障害……………甲村 弘子…1098
3. 低身長……………田中 敏章…1103
4. 皮膚疾患（多毛，にきび）……今山 修平…1106
5. 乳房の異常……………弥生 恵司…1109
6. 性器の異常（内外性器を含む）
……………牧野 恒久・松林 秀彦…1112
7. 思春期，若年女性の性感染症…早川 謙一…1115
8. 思春期早発，遅発……………加藤 賢朗…1120
9. 月経の異常……………北川 博之…1123
10. 卵巣腫瘍……………西田 敬・嘉村 敏治…1126

●女性の泌尿器疾患—最新情報(10)

<概説>

1. 女性下部尿路の構造と機能……中田 真木…1166
2. 泌尿器系検査法（ウロダイナミックスを含む）……黒川 泰史・香川 征…1170
3. 女性の泌尿器科疾患の特徴
……加藤久美子・鈴木 弘一・村瀬 達良…1174

<主要症状>

1. 尿失禁
 - 1) 尿失禁の分類と鑑別疾患…山田 拓己…1177
 - 2) 薬物療法……………石河 修…1183
 - 3) 理学療法……………進 純郎…1186
 - 4) 尿失禁の手術療法—術式選択の重要性
近藤 厚生・磯部 安朗・黒田 和男
弓場 宏・上平 修・松浦 治…1192
 - 5) 失禁に対するセルフケアの
ためのアドバイス……………西村かおる…1197
2. 頻 尿……………柏原 剛・井川 靖彦…1200
3. 排尿障害……………三橋 直樹…1206

<尿路感染症>

1. 複雑性膀胱炎
……荒川 創一・岡田 弘・守殿 貞夫…1208
2. 腎盂腎炎……………坂 義人…1210

<泌尿器疾患合併妊娠>

1. 慢性腎炎……………草薙 康城・伊藤 昌春…1212
2. 腎不全合併妊娠…安達 知子・新井 理水…1215

3. その他の泌尿器疾患—腎盂腎炎，尿路結石，水腎症，腎癌…伊原 由幸…1218
- <婦人科手術と尿路障害>

1. 膀胱・尿管損傷の処置……………永田 一郎…1221
2. 婦人科手術後の排尿障害……………近江 和夫…1228
3. 腎瘻・人工膀胱の管理……………久保田洋子…1232

●母子感染—最新の管理指針を考える(11)

<最近の動向と新たな問題点>

1. 産婦人科の立場から……………川名 尚…1266
- <ウイルスの母子感染とその管理>

1. 風 疹……………種村 光代…1271
2. B型肝炎……………柳原 敏宏…1274
3. C型肝炎……………打出 喜義…1277
4. サイトメガロウイルス……………北中 孝司…1281
5. ヒトパルボウイルス B 19 ……成瀬 寛夫…1284
6. ヘルペス……………二村 真秀…1288
7. 水 痘
……渡辺 博・岡嶋 祐子・稲葉 憲之…1290
8. HTLV-1
……伊藤 雄二・庄野 秀明・岩坂 剛…1293
9. HIV ……宮澤 豊…1296
10. ウイルス関連性血球貪食症候群
……………田中 太平・戸苅 創…1302

<細菌などの母子感染とその管理>

1. トキソプラズマ……………小島 俊行…1306
2. リステリア症……………竹田 善治・坂井 昌人
中山 摂子・中林 正雄…1310
3. クラミジア……………関 博之…1313
4. 梅 毒……………小林 範子・藤本 俊郎
佐川 正・藤本征一郎…1316

●ART 最新情報—妊娠率向上のために(12)

<卵巣刺激・受精>

1. ART の成功率と内分泌動態 ……本山洋明…1362
2. Poor responder の卵巣刺激
……中川 浩次・山野 修司・青野 敏博…1367
3. 自然周期 (clomiphene 周期) 採卵法の実際
……貝嶋 弘恒・寺元 章吉・加藤 修…1372
4. 卵の quality 改善法
……神野 正雄・岩下 光利・中村 幸雄…1376
5. 未熟卵の体外成熟法……………森本 義晴…1380
6. ICSI と精子選別
……………笠井 剛・星 和彦…1384
7. 当院における無精子症患者への対応

……栗田松一郎・田中 温・永吉 基
馬渡 善文・田中威づみ・竹本 洋一
高崎 博幸・岩本 智子・鉾田 恵里
竹本 桂世……………1388

＜凍結・胚移植・着床＞

1. 内視鏡的子宮内膜機能評価
……佐久本哲郎・本間 裕郎・徳永 義光…1395
2. 胚盤胞移植……………宇津宮隆史…1399
3. 選択的凍結胚移植（全胚凍結胚移植）
……神谷 博文・森若 治・田中 恵美
八木亜希子・下大澤とし恵……………1405
4. Vitrification ……………向田 哲規…1410
5. エチレングリコールを用いたヒト凍結胚移植
……山下 正紀・森 布紀子・福島 護之…1414
6. 免疫性不妊と ART
……………柴原 浩章・高見澤 聡
山田 哲夫・佐藤 郁夫…1418

カラグラフィ

●知っている役立つ婦人科病理

7. What is your diagnosis? 森谷 卓也… 7(1)
8. What is your diagnosis?
……………藤田 美惻・荒川三紀雄
清水 幹雄・清水 道生… 115(2)
9. What is your diagnosis?
……………伊藤 智雄・清水 道生
石倉 浩…………… 217(3)
10. What is your diagnosis?
……………清水 道生・古屋 充子
伊藤 智雄…………… 329(4)
11. What is your diagnosis?
……………古屋 充子・伊藤 智雄
清水 道生…………… 631(5)
12. What is your diagnosis? 広川 満良… 741(6)
13. What is your diagnosis?
……………原田 美貴・向井 清… 861(7)
14. What is your diagnosis?
……………森谷 卓也・赤平 純一… 971(8)
15. What is your diagnosis? 石倉 浩…1067(9)
16. What is your diagnosis?
……………清水 道生・伊藤 智雄…1163(10)
17. What is your diagnosis? 石倉 浩…1263(11)
18. What is your diagnosis?
……………伊藤 智雄・清水 道生…1163(12)

誌上 Debate

7. 閉経間近婦人子宮全摘時の卵巣
摘除の是非…薬師寺道明
vs 藤本征一郎・櫻木 範明… 74(1)
8. preterm PROM における羊水
補充療法の是非
……………天野 完 vs 中山 摂子… 198(2)
9. 進行卵巣癌における傍大動脈リ
ンパ節郭清の是非
……………落合 和徳 vs 武田 佳彦… 300(3)
10. 鉗子分娩か吸引分娩か
原 量宏 vs
宮崎 豊彦・野村 弘行・吉村 泰典… 714(5)
11. PROM への抗生物質投与の是非
杉本 充弘・池谷 美樹
vs 松田 義雄…………… 832(6)
12. PCOS の排卵誘発は薬剤か、腹
腔鏡下手術か
……………東 敬次郎 vs 角沖 久夫…1046(8)

Estrogen Series (矢沢珪二郎)

42. 低力価エストロゲン（エストリ
オール）は子宮内膜癌を増加さ
せるか?…………… 940(7)
43. 緊急経口避妊薬（ECP）……………1042(8)
44. ピルはほんとうに環境ホルモン
か?……………1138(9)
45. まだ実証されていない phytoes-
trogen の効果……………1242(10)
46. 更年期後のホルモン補充療法と
乳癌との関係ーエストロゲン単
剤とエストロゲン＋プロゲステ
ン組み合わせとの比較 その1……………1428(12)

産婦人科キーワード

45. ベセスダシステム……………西村 正人… 66(1)
46. 補体第二経路
鎌田 正晴・前川 正彦・青野 敏博… 67(1)
47. パピローマウイルスと子宮頸癌
……………西村 正人… 190(2)
48. 遺伝子標的薬：ジーンターゲッ
ティング……………安井 敏之… 191(2)
49. アポ蛋白……………安井 敏之… 292(3)
50. ヒト免疫不全ウイルス……………前川 正彦… 293(3)
51. AZF ……………奈路田拓史… 706(5)

52. クローン……………前田 信彦…	707(5)
53. パルスドブラ ……………別宮 史朗・青野 敏博…	824(6)
54. ナチュラルキラー細胞……………前川 正彦…	825(6)
55. プロテインキナーゼC ……牛越賢治郎…	1240(10)
56. ステロイドホルモン細胞膜レセ プター……………漆川 敬治…	1241(10)
57. レプチン……………斎藤誠一郎…	1324(11)
58. テロメラゼ……………西村 正人…	1325(11)

病院めぐり

聖霊病院……………伊藤 誠…	68(1)
麻田総合病院……………谷本 博利…	69(1)
石川県立中央病院……………矢吹 朗彦…	192(2)
大阪労災病院……………山崎 正人…	193(2)
国立大阪南病院……………神田 隆善…	294(3)
横浜南共済病院……………飛鳥井邦雄…	295(3)
岡山労災病院……………小橋 勇二…	708(5)
勤医協中央病院……………坂本 和利…	709(5)
手稲溪仁会病院……………佐藤 力…	826(6)
日本赤十字社医療センター……………石井 康夫…	827(6)
国立大阪病院……………鈴木 瞭…	936(7)
埼玉社会保険病院……………西野るり子…	937(7)
国立岡山病院……………福井 秀樹…	1038(8)
横須賀共済病院……………加藤 良樹…	1039(8)
東京都立荏原病院……………前田 光士…	1134(9)
興生総合病院……………藤原 久子…	1135(9)
土谷総合病院……………小田 博宗…	1238(10)
マツダ病院……………木岡 寛雅…	1239(10)
JR 東京総合病院 ………………岡村 隆…	1322(11)
JA 尾道総合病院 ………………村上 隆浩…	1323(11)
札幌厚生病院……………西谷 雅史…	1426(12)
青梅市立総合病院……………陶守敬二郎…	1427(12)

産婦人科クリニカルテクニク

ワンポイントレッスン—私のノウハウ

尖圭コンジローマの凍結療法におけ る新しい簡易型クライオスプレー 器具について……………佐藤賢一郎…	65(1)
吸引遂婉器の婦人科手術への応用 ……………佐藤賢一郎・水内 英充…	1130(9)
軟性子宮鏡検査における子宮腔内明 視法について……………佐藤賢一郎・水内 英充…	1326(11)
結紮縫合糸により生じる裂傷の防止 法について……………佐藤賢一郎・水内 英充…	1430(12)

総説

基靱帯—その解剖と切離法

…矢吹 朗彦・朝本 明弘・干場 勉 平吹 信弥・八木原 亮・西川有紀子…	839(6)
---	--------

原著

Add-back 療法における結合型エス

トロゲン投与量調節の試み ……………星本 和倫・大藏 健義…	97(1)
-----------------------------------	-------

胎児食道の超音波断層像所見につい

て……………村尾 文規…	944(7)
--------------	--------

妊娠浮腫に対する柴苓湯の効果—生

体インピーダンス法を用いた評価 …武内 享介・村田 一男・舟木 馨 藤田 一郎・早川 陽子・船越 徹 森田 宏紀……………	950(7)
--	--------

子宮頸癌 Ib 1 に対する laparos- copic radical hysterectomy

…林 博章・柳沼 裕二・山下 剛 石谷 敬之・森崎 篤・加藤 育民 石川 睦男……………	954(7)
--	--------

不妊外来患者の抗核抗体スクリーニ

ングの検討 …横田 佳昌・横田美賀子・白取 祐子 石川 恭子・佐藤 節子・槇田まさみ 浅田 照美・荒木 康久……………	1052(8)
--	---------

婦人科手術における術後 D-ダイ

マー値の検討 …樋田 一英・恒松隆一郎・山田 拓郎 笠松 高弘・澤田 守男・近江 和夫…	1245(10)
--	----------

多嚢胞性卵巣症候群に対する柴苓湯

の有用性に関する検討—特に排卵 誘発について …酒井 淳・近藤善二郎・亀井 一彦 角 毅一郎・和泉俊一郎……………	1330(11)
--	----------

症例

平滑筋肉腫と管状腺癌が混在した子

宮癌肉腫の 1 例 …小原 範之・寺本 憲司・新谷 潔 塚本 澄子・鷹井 敏子・近藤さおり 三村 恵子……………	103(1)
---	--------

保存的手術と MEA 療法により寛解

となし得た卵巣絨毛癌の 1 例 …塩見ひろ美・井川 佐紀・木村 光宏	
---------------------------------------	--

高橋 久寿・日野 明子……………	203(2)
帝王切開術後1日目に肺血栓塞栓症 を発症し catheter-directed thrombolysis により良好な経過 を得た1例	
…佐藤賢一郎・水内 英充・玉川 心吾 実藤 洋一・井上 玲・星野 弘勝 松木 高雪・山内 一暁・國本 清治 伊藤 洋輔・大谷 則史・浅田 秀典 三上 晴克……………	315(3)
卵巣顆粒膜細胞腫摘出12年後に骨 盤内に再発した1例	
…朝野 晃・桑田 知之・大井 嗣和 石垣 展子・丹野 治郎・明城 光三 和田 裕一・鈴木 博義……………	849(6)
子宮筋層内転移を認めた placental site trophoblastic tumor (PSTT) の1例	
…中元 剛・斉藤 淳子・八百井雅美 西田ヒロ子・松原 高史・松尾 泉 大崎 尚・北田 光美・神崎 秀陽……………	1251(10)
子宮体癌内視鏡下手術後の Port Site 転移の1例	
…渡邊喜久雄・林 博章・山下 剛 田中 俊之・小島 貴志・伊藤 秀行 石川 睦男……………	1439(12)

臨床経験

新しいエストラジオール測定キット の基礎的および臨床的検討 ……………高橋健太郎・宮崎 康二……………	721(5)
膀胱子宮靱帯前層と後層はペアをな すものか—Latzko と岡林術式の 相違	
…矢吹 朗彦・朝本 明弘・干場 勉 平吹 信弥・八木原 亮・西川有紀子……………	727(5)
子宮摘出術に際して行う McCall 改 良法の実際	
…下浦 久芳・古山 将康・木村 俊夫 徳川 吉弘・村田 雄二……………	1141(9)
卵巣嚢腫内容液穿刺吸引時漏出防止 の工夫—ゴムシートと接着穿刺法 とフリーサイズポート ……………井上 滋夫・上野 有生 草西 洋・水谷不二夫……………	1147(9)
腹腔鏡における第1トロッカーの	

Direct 挿入法の施行経験と安全 性に関する文献的考察 ……………高橋 敬一・佐藤 孝道……………	1336(11)
準広汎子宮全摘出術における自動縫 合器を用いた腔断端処理について ……………大山 則昭・木村菜桜子・吉岡 知巳 高橋 道・太田 博孝・田中 俊誠……………	1342(11)
卵巣未熟奇形腫12例の臨床的検討 ……………朝野 晃・石垣 展子・早坂 篤 丹野 治郎・藤田 信弘・大井 嗣和 明城 光三・和田 裕一……………	1434(12)

Obstetric News

経腔超音波による子宮頸管長測定と 産科管理……………武久 徹……………	70(1)
頸管熟化方法：フォーリーカテーテ ルの有用性……………武久 徹……………	82(1)
分娩後出血と misoprostol ……………武久 徹……………	84(1)
アンピシリン耐性菌による新生児敗 血症の増加……………武久 徹……………	186(2)
妊娠糖尿病～米国糖尿病学会の新しい 診断基準の問題点……………武久 徹……………	194(2)
妊娠糖尿病スクリーニングの候補者 ～米国糖尿病学会の勧告の問題点 ……………武久 徹……………	291(3)
薬剤の適応外使用 (“Off-Label” drug use) ……………武久 徹……………	296(3)
満期前破水 (pPROM: preterm pre- mature rupture of membranes) と内診 ……………武久 徹……………	449(4)
新生児 GBS 敗血症予防～CDC の二 戦略の有効性……………武久 徹……………	828(6)
ルーチン超音波診断は有用なのか？ ……………武久 徹……………	938(7)
巨大児の疑いの場合に誘発分娩を行 うべきか？……………武久 徹……………	1040(8)
吸引分娩再考……………武久 徹……………	1136(9)
経口中絶薬 RU-486, 米国で認可 ……………矢沢珪二郎……………	1431(12)

ART シリーズ (矢沢珪二郎)

7. ART 周期の何パーセントが妊 娠するか？……………	29(1)
8. ART による妊娠のうちどのく らいが生存児として生まれ、ど	

のくらいが双胎か？……………	34(1)
9. ART の成功率は女性の年齢によりどのように影響されるか？……………	47(1)
10. 経産婦と未産婦では ART 成功率に相違があるか？……………	123(2)
11. 不妊症の原因は ART の成功率に影響を与えるか？……………	145(2)
12. 移植胚数が多いほど ART 成功率は高くなるか？……………	166(2)
13. 男性不妊に対する ART は、原形質内精子注入法を使用したほうが成績がよいか？……………	345(4)
14. 不妊症クリニックの規模は ART 成功率に影響を及ぼすか？……………	410(4)
15. 凍結胚使用 ART の成功率はどのくらいだろうか？……………	424(4)
16. 年長女性はドナー卵を使用する割合が高くなるのか？……………	510(4)
17. 年齢別にみたドナー卵使用の	

ART 成功率と自己卵を使用した ART 成功率の相違……………	555(4)
----------------------------------	--------

Current Practice

C 型肝炎は性感染症か？……………矢沢圭二郎…	1327(11)
-------------------------	----------

Expert Lecture for Clinician

三相性低用量経口避妊剤 Triquilar	
—その適正使用のために—中村 元一…	87(1)
OC の起源とその探求—ピンカスからのメッセージ— ……DoWon Hahn…	309(3)

昨日の患者

知っていれば何のことはない巨大腔溜血腫……………松本 清一…	1087(9)
--------------------------------	---------

Coffee Break

1900 年のロンドン留学 ……増崎 英明…	268(3)
三つ子の魂百まで……………打出 喜義…	1280(11)